

漁海況速報

No.1

平成19年1月10日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県沖には目立った低水温はみられないが、北からの親潮系冷水の波及が金華山沖50海里付近にみられる。

②本県沖の水温は昨年末並で、20海里沖までは10~12°C台が、より沖合では13°C台が分布している。

③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦とともに平年並。

見通し(1週間)

・県北部沖合域では親潮系冷水の波及により水温の低下がみられるでしょう。

漁海況速報について

1 表面水温分布図

人工衛星による表面水温値を参考に、船舶等による実測水温に基づいて、発行日から1週間前までのデータを用いて作図を行っております。

2 定地水温

小名浜…みさき公園下からの揚水を計測(午前9時)
大熊…第一原発取水口からの揚水を計測(午前9時)
松川浦…湾口部の表面を計測(午前10時)
広野沖…広野地先約40kmの水深5mで測定(午前7時)

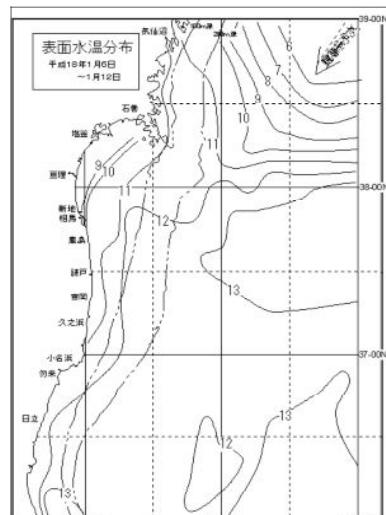
3 漁況概況

発行日前週の木曜日から、その週の水曜日までの水揚情報(前週に発行がなかった場合はその週の分を含めて)、各漁協について漁業種類・魚種ごとに集計し、水揚金額の高い漁獲物順に掲載しております。

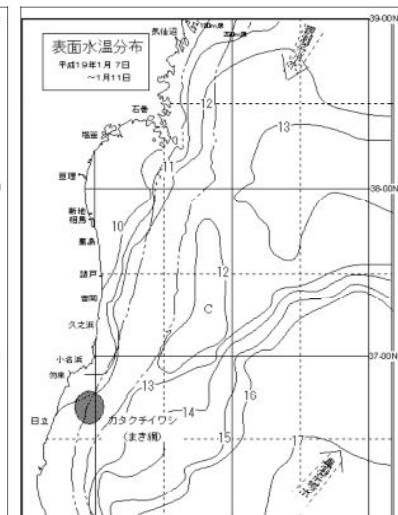
(ご不明な点は、水試漁業部までお問い合わせください)

本年もよろしくお願いいたします。

平成18年同期



平成19年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/4	11.2	10.5	9.1	—
1/7	11.6	11.0	8.3	—
1/8	11.3	11.1	8.5	—
1/9	11.6	11.3	8.7	—
1/10	11.3	10.8	8.1	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

表面水温分布

平成20年1月4日
~1月10日

石巻

塩釜

亘理

新地
相馬

鹿島

請戸

富岡

久之浜

小名浜

勿来

日立

気仙沼

100m深
200m深

10

39-00N

14

11

10

12

13

14

15

16

17

18

19

20

38-00N

37-00N

141-00E

142-00E

143-00E

親潮
系冷
水

漁海況速報

No.2

平成19年1月18日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①本県南部海域では黒潮系暖水の波及により14~16°C台がみられる。
- ②本県中北部海域のごく沿岸では1~2°C程度の水温の低下がみられた。
- ③定地水温は、小名浜、大熊、は平年より1°C低く、松川浦は平年より1°C高い。

見通し(1週間)

- ・県南部海域への黒潮系暖水の波及は継続するでしょう。

漁況情報(シラス)

- ・平成19年漁期のシラスの水揚げ状況は以下の表のとおりでした。

	いわき	相双	県内合計
数量(kg)	368,964	2,120,178	2,489,142
平成19年 金額(千円)	134,329	843,338	977,667
単価(円/kg)	364	398	393
数量(kg)	104,192	906,614	1,010,806
平成18年 金額(千円)	58,892	489,970	548,862
単価(円/kg)	565	540	543
平成19年 数量	254.0%	291.8%	285.5%
と過去5年 金額	225.2%	259.2%	253.9%
平均の比 単価	88.7%	88.8%	88.9%

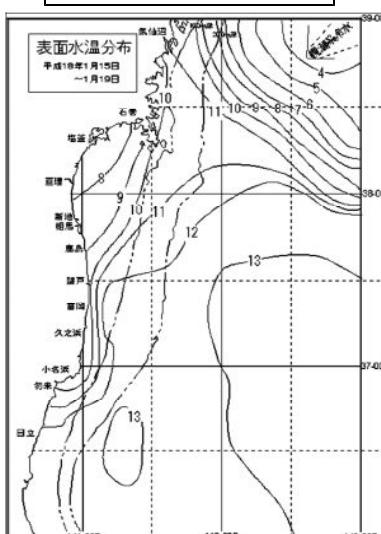
- ・平成19年のシラス漁では、5~6月の春季に平成18年に続き平成13年以来のまとまった水揚がみられました。秋漁では8月下旬~9月に好漁となり、相双地区では12月上旬頃まで好調な水揚げが継続しました。年末までの累計水揚量では近年で最も好漁であった平成17年との比が124%と、過去最高の水揚量を記録しました。

定地・定点水温の推移(°C)

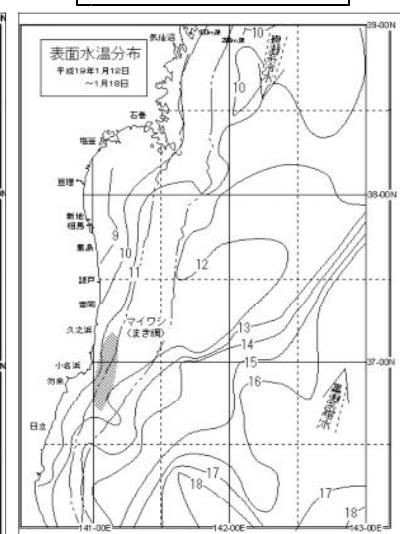
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/11	11.2	10.1	7.9	13.6
1/14	—	—	—	—
1/15	9.8	9.2	8.2	14.4
1/16	9.6	9.4	8.5	16.0
1/17	9.7	9.2	7.9	15.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成18年同期

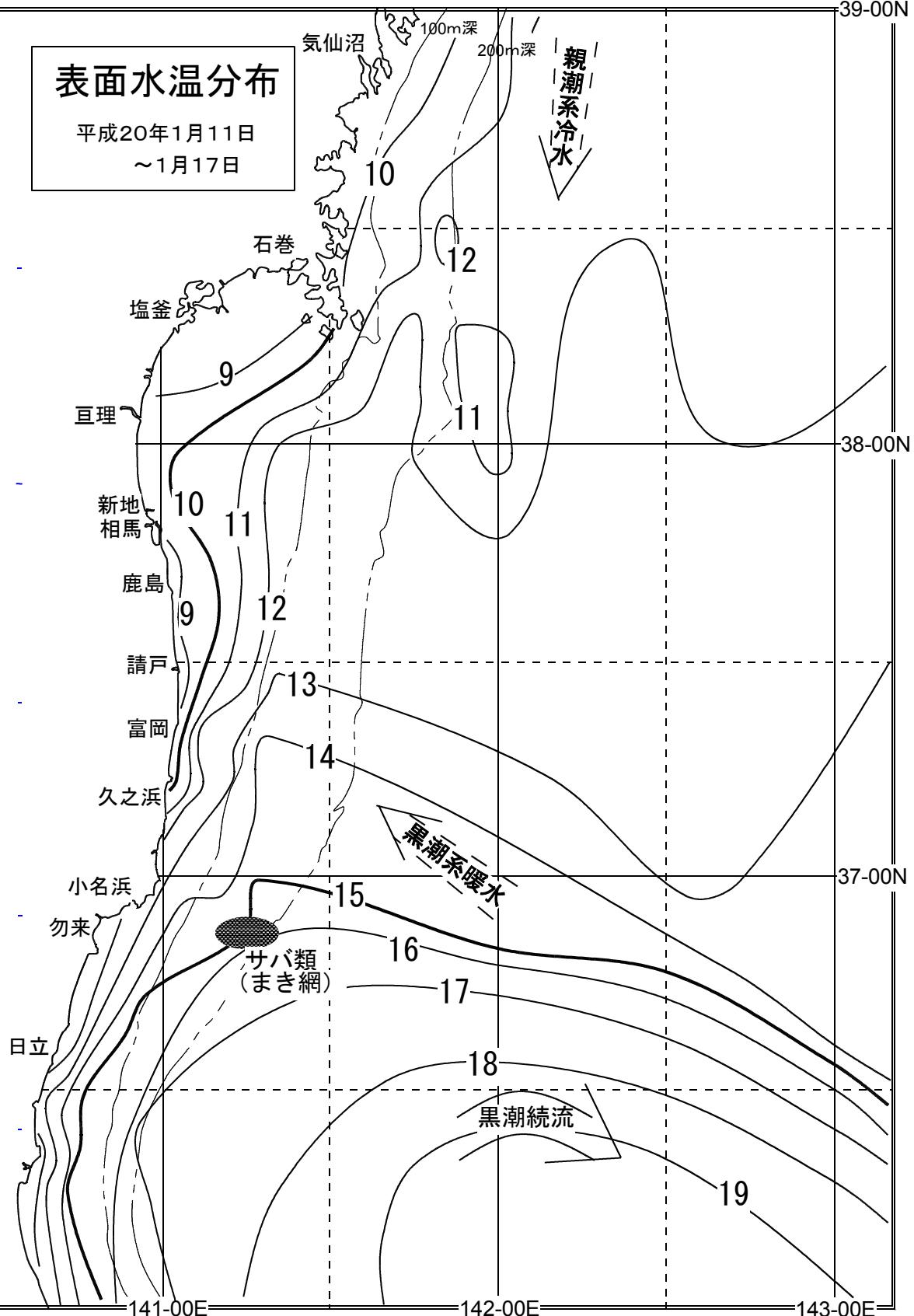


平成19年同期



表面水温分布

平成20年1月11日
～1月17日



漁海況速報

No.3

平成20年1月25日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県南からの黒潮系暖水の波及は北上し、南部海域は広く15~16°C台に覆われ、中北部海域30~40海里付近にも15°C台がみられる。

②本県のごく沿岸では先週と比較して1~2°C程度の水温の上昇がみられた。

③定地水温は、小名浜は平年より1°C高く、大熊、松川浦は平年並。

見通し(1週間)

・県南部海域への黒潮系暖水の波及は継続するでしょう。

海況情報(黒潮系暖水の波及について)

・昨年末から年明けにかけて、茨城県沖で黒潮続流(房総半島以東の黒潮の流れ)が大きく蛇行し北上したのに伴い、先週より本県海域へも黒潮系暖水の波及が顕著となりました。

・これに伴い、本県南部海域の表面では、平年を1~3°C上回る水温がみられており(表1と海況図を参照下さい)。

・本県中北部海域でも、この暖水波及に由来する高水温が30~40海里沖付近を中心としてみられており、これより岸よりでは波及の影響は弱く、水温は平年並となっております(表2)。

表1 塩屋崎沖における1月の平年の水温

岸からの距離	10海里	30海里	50海里
平年の表面水温	13.4°C	12.7°C	13.3°C

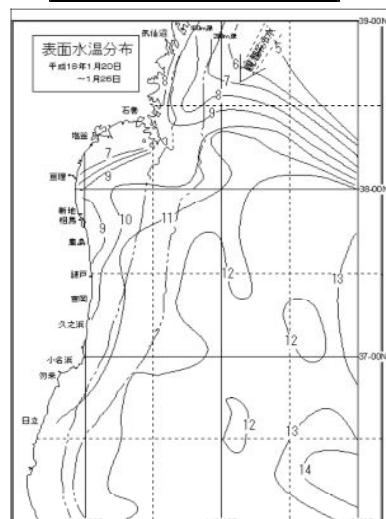
表2 調査船「拓水」により1月に観測された

本県中北部海域における表面水温(単位:°C)

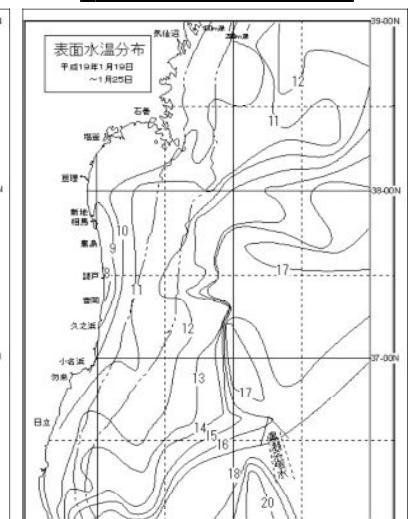
	観測値	前年差	平年差
鵜ノ尾	10.80	+0.82	+0.32
富岡	12.95	+2.60	+0.90
全体	11.76	+1.61	+0.58

(鵜ノ尾沖は距岸30海里、富岡沖は距岸20海里までの平均値)

平成18年同期



平成19年同期



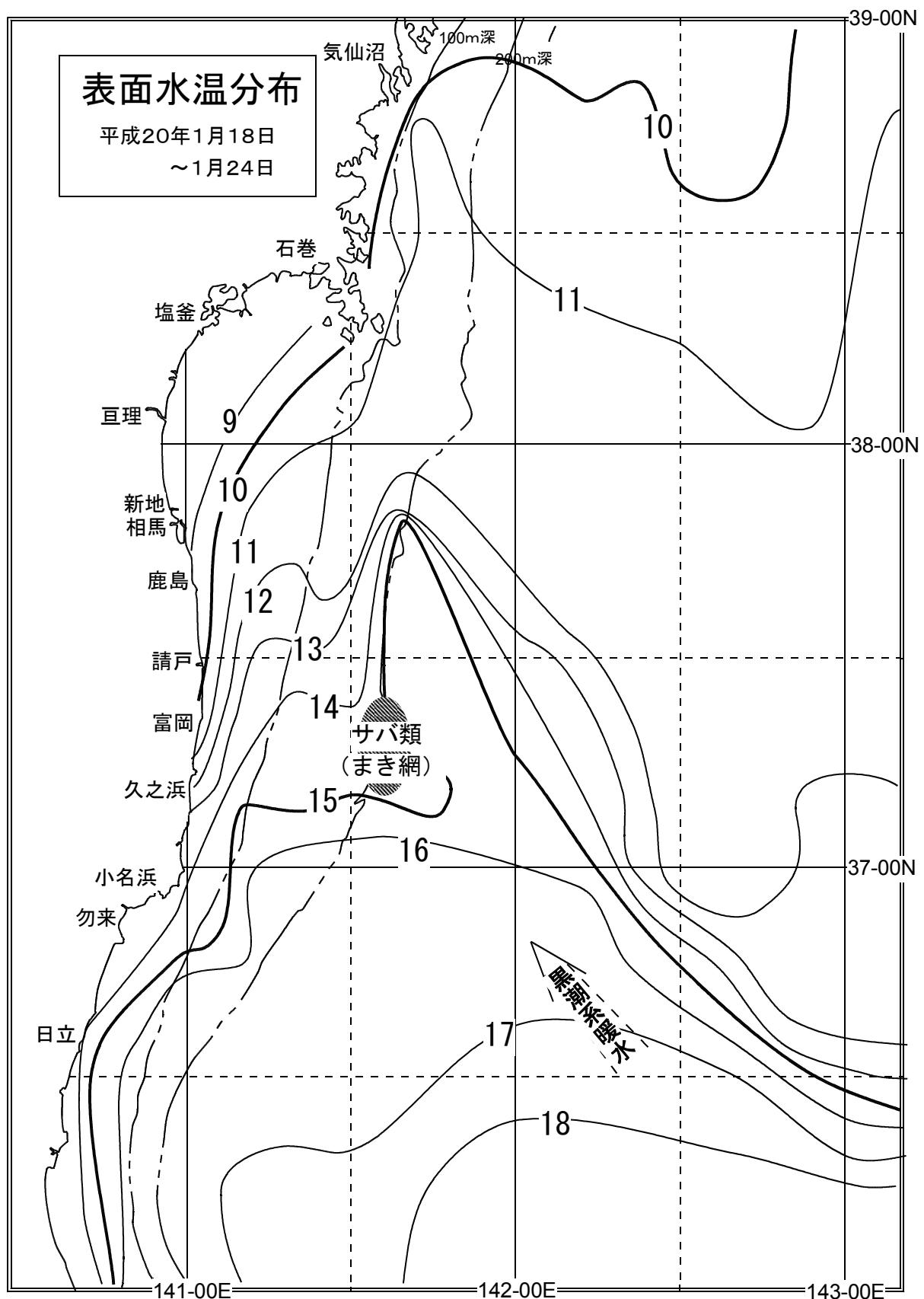
定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/18	10.7	8.6	7.7	15.6
1/21	11.8	9.4	7.5	14.5
1/22	11.9	8.7	7.3	13.8
1/23	12.2	9.3	7.2	15.4
1/24	12.1	10.2	7.5	15.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成20年1月18日
~1月24日



漁海況速報

No.4

平成20年2月1日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①本県南部海域は黒潮系暖水に覆われ、15~16°C台がみられる。先週みられた中部海域沖30~40海里付近の15°C台はみられなくなった。
- ②北からの親潮由来の冷水の波及が強まり、本県沖30~50海里付近には広く9~10°C台が分布した。
- ③定地水温は、小名浜は平年より2°C高く、大熊は1°C高く、松川浦は平年並。

見通し(1週間)

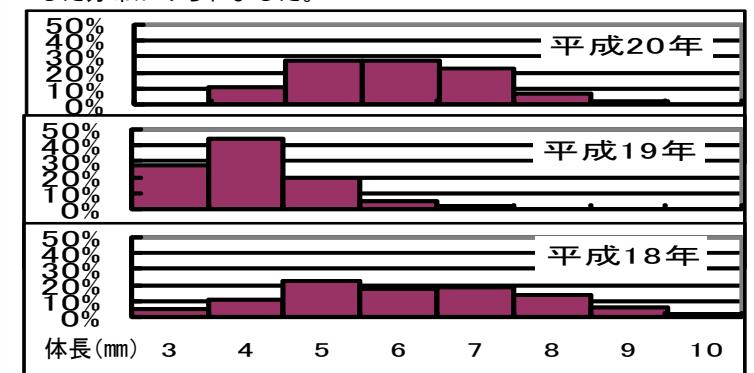
- ・県南部海域への黒潮系暖水の波及、中北部海域への親潮系冷水の波及は継続するでしょう。

コウナゴ漁期前調査結果

- ・1月下旬に調査船「拓水」により調査を実施しました。(県北、中、南の3定線を2海里毎に14海里沖まで丸稚ネットで10m深を5分曳網、小名浜沖は荒天のため8海里まで実施)
- ・採集尾数は下表のとおりで、県北に偏った分布がみられました。

	小名浜	請戸	鶴ノ尾埼
平成20年	87	1,660	10,520
平成19年	0	774	2,276
平成18年	3,773	5,258	5,234

- ・採集されたコウナゴの体長は下表のとおりで、5~7mm台に集中した分布がみられました。



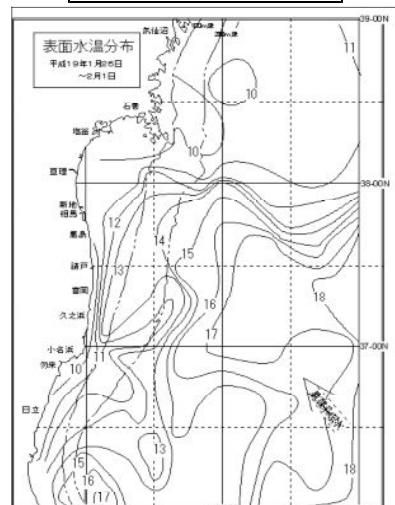
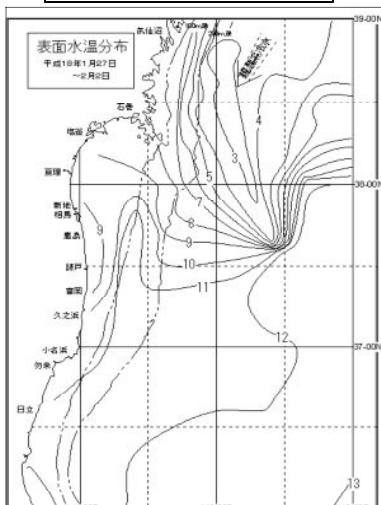
平成18年同期

平成19年同期

定地・定点水温の推移(°C)

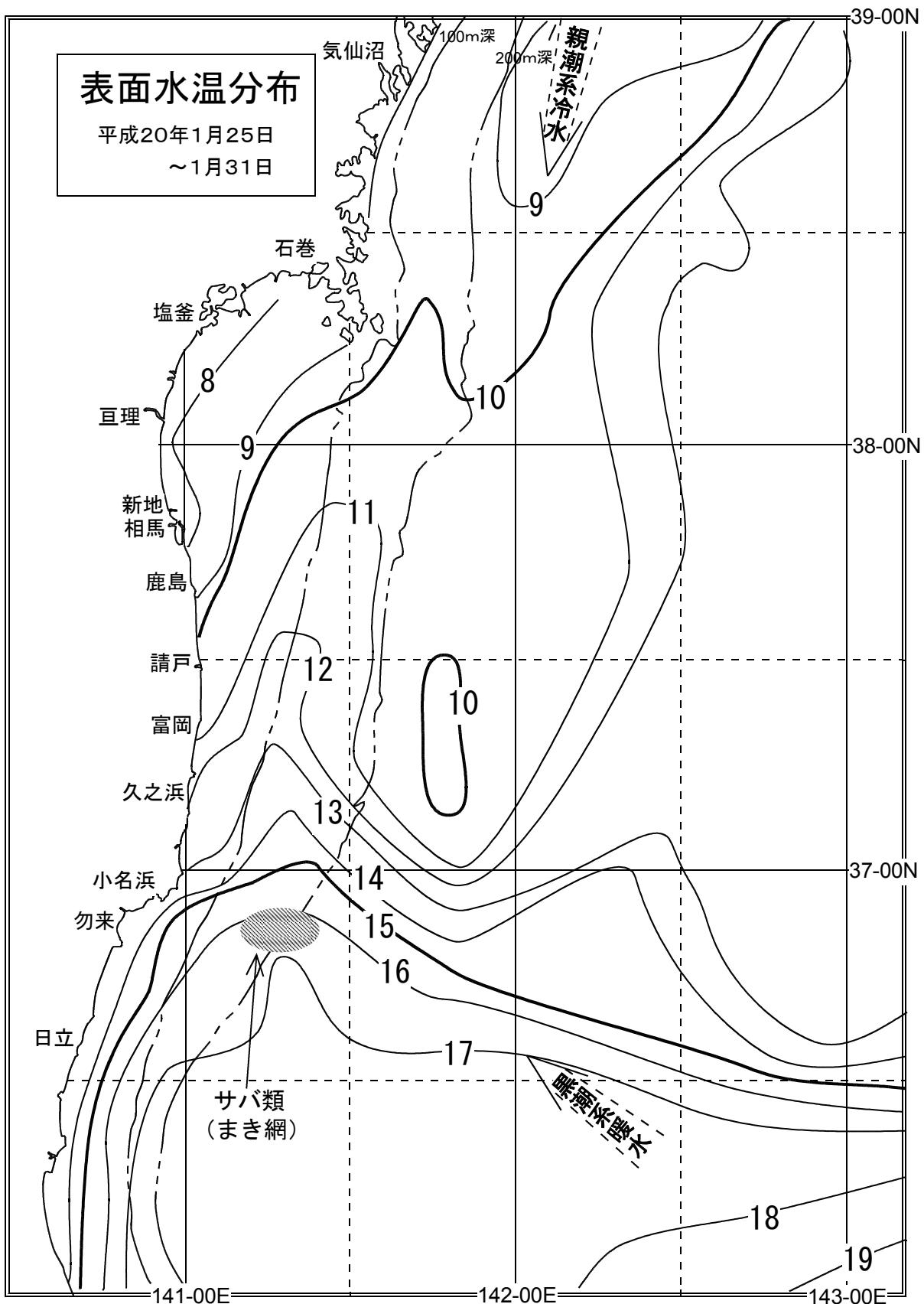
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/25	11.0	8.9	6.4	14.7
1/28	11.5	8.3	6.6	10.8
1/29	11.7	9.0	7.0	10.7
1/30	12.0	8.8	7.2	11.0
1/31	12.8	8.7	7.3	10.3

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



表面水温分布

平成20年1月25日
~1月31日



漁海況速報

No.5

平成20年2月8日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県中南部海域への黒潮系暖水の波及は先週に引き続きみられ、10~20海里沖付近には11~13°C台がみられる。

②北からの親潮由来とみられる冷水の波及傾向は先週より弱まった。南部海域沖30海里および60海里付近に9°C台の冷水域がみられる。

③定地水温は、小名浜は平年より3°C高く、大熊は1°C低く、松川浦は平年並。

見通し(1週間)

・県南部海域への黒潮系暖水の波及は継続するでしょう。

平成20年2月沿岸定線海洋観測結果

・2月5~6日に調査船「いわき丸」にて実施しました海洋観測結果をお知らせします。

・各定線で観測された水温とその前年、平年差は以下の表のとおりでした。

	(単位:°C)	観測値	前年差	平年差
表面	鵜ノ尾崎	10.10	+0.73	+1.78
	富岡	10.44	-2.33	+0.96
	塩屋崎	11.26	-2.19	+0.63
100m深	全体	10.60	-1.26	+1.12
	鵜ノ尾崎	10.28	+1.61	+2.28
	富岡	10.02	-2.63	+1.46
	塩屋崎	9.69	-1.53	+0.45
全体	全体	9.95	-1.36	+1.24

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・黒潮系暖水の波及が、中南部海域の10~20海里付近に南から、また中北部海域へは北から回り込んで40~60海里付近にみられ、その周辺では平年よりやや高め~高めの水温が観測されました。

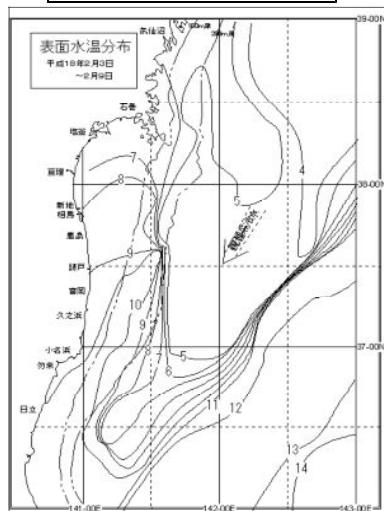
・北部海域沖30海里付近から親潮由来とみられる低温水が波及し、塩屋崎沖60海里付近に冷水域を形成しておりますが、その勢力は弱いものでした。

定地・定点水温の推移(°C)

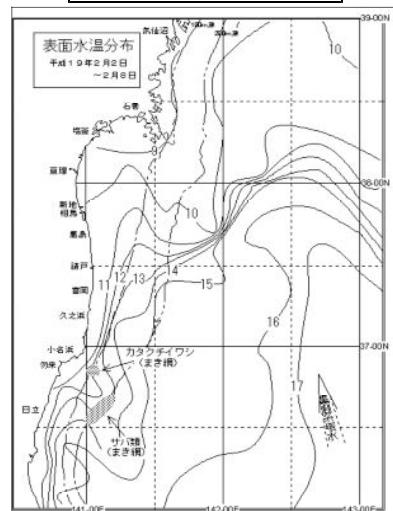
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/1	12.3	8.1	6.9	10.1
2/4	11.8	7.5	6.5	10.4
2/5	12.0	7.4	6.2	10.2
2/6	12.6	7.6	6.1	10.3
2/7	12.9	7.2	6.0	10.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成18年同期

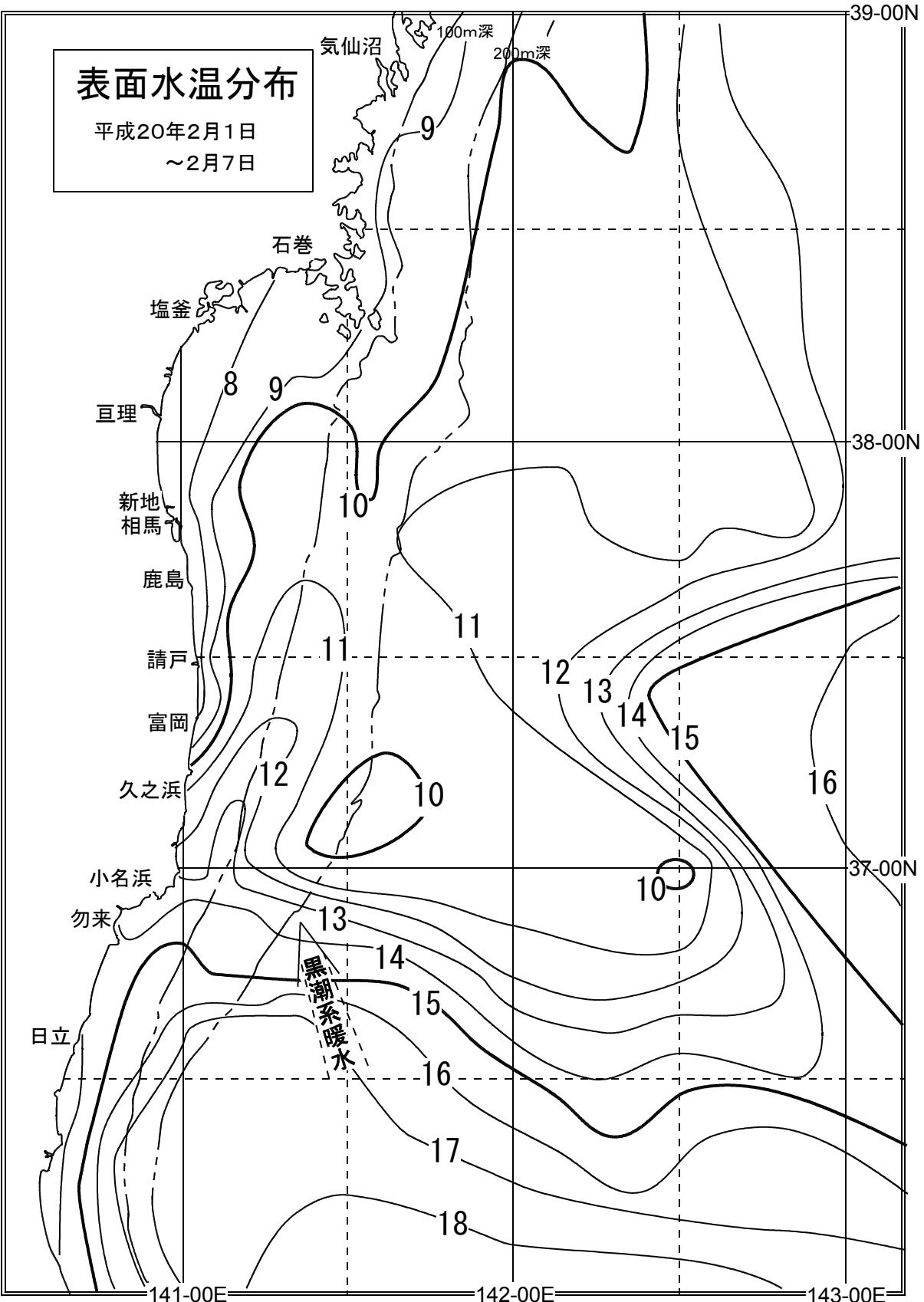


平成19年同期



表面水温分布

平成20年2月1日
~2月7日



漁海況速報

No.6

平成20年2月15日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県南部海域沖10~20海里を中心に黒潮系暖水の波及が継続し、11~16°C台がみられる。

②北からの親潮由来とみられる冷水の波及は先週並で、本県沖30~60海里付近には9~10°C台が広く分布している。

③定地水温は、小名浜は平年より2°C高く、大熊・松川浦は1°C低い。

見通し(1週間)

・県南部海域への黒潮系暖水の波及は継続するでしょう。

漁況情報(ホッキ貝)

・1月で漁期を終えましたホッキ貝桁網漁業の水揚状況をお知らせします。

・今漁期(平成19年6月~平成20年1月)の水揚数量、金額および昨漁期との比は以下の表のとおりでした。

	平成19年度漁期	平成18年度漁期	昨年比
いわき 地区	数量(kg)	294,537	313,393
	金額(千円)	67,959	84,030
	単価(円/kg)	231	268
相双地区	数量(kg)	528,807	468,817
	金額(千円)	169,208	156,804
	単価(円/kg)	320	334
県内合計	数量(kg)	823,344	782,210
	金額(千円)	237,167	240,834
	単価(円/kg)	288	308

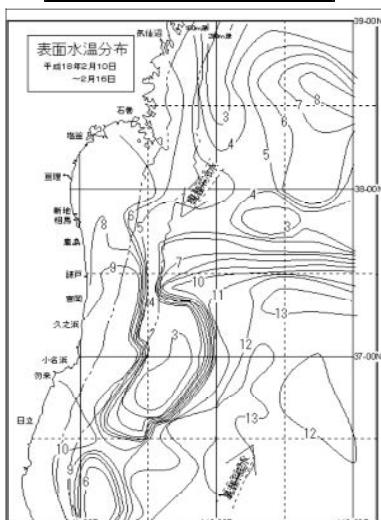
・昨漁期に続き漁獲の主体は発生量の多かった平成15年級群で、それより過去に生まれた大型貝の資源が減少傾向にあります。そのため、小型貝が水揚の中心となり、近年と比較して単価は低め基調で推移し、漁期計では昨年を下回りました。

定地・定点水温の推移(°C)

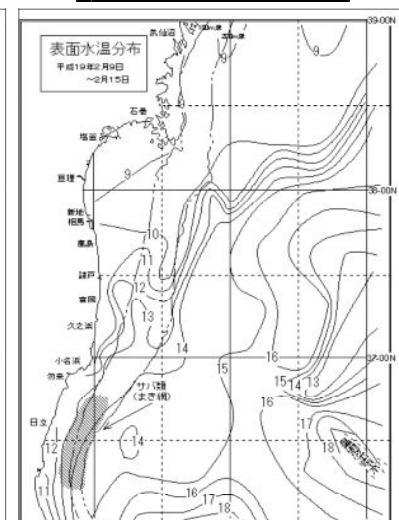
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/8	12.4	7.3	5.8	10.6
2/11	—	—	—	9.9
2/12	12.3	7.9	6.7	10.0
2/13	12.1	8.4	6.1	9.9
2/14	11.3	7.4	5.4	9.9

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成18年同期



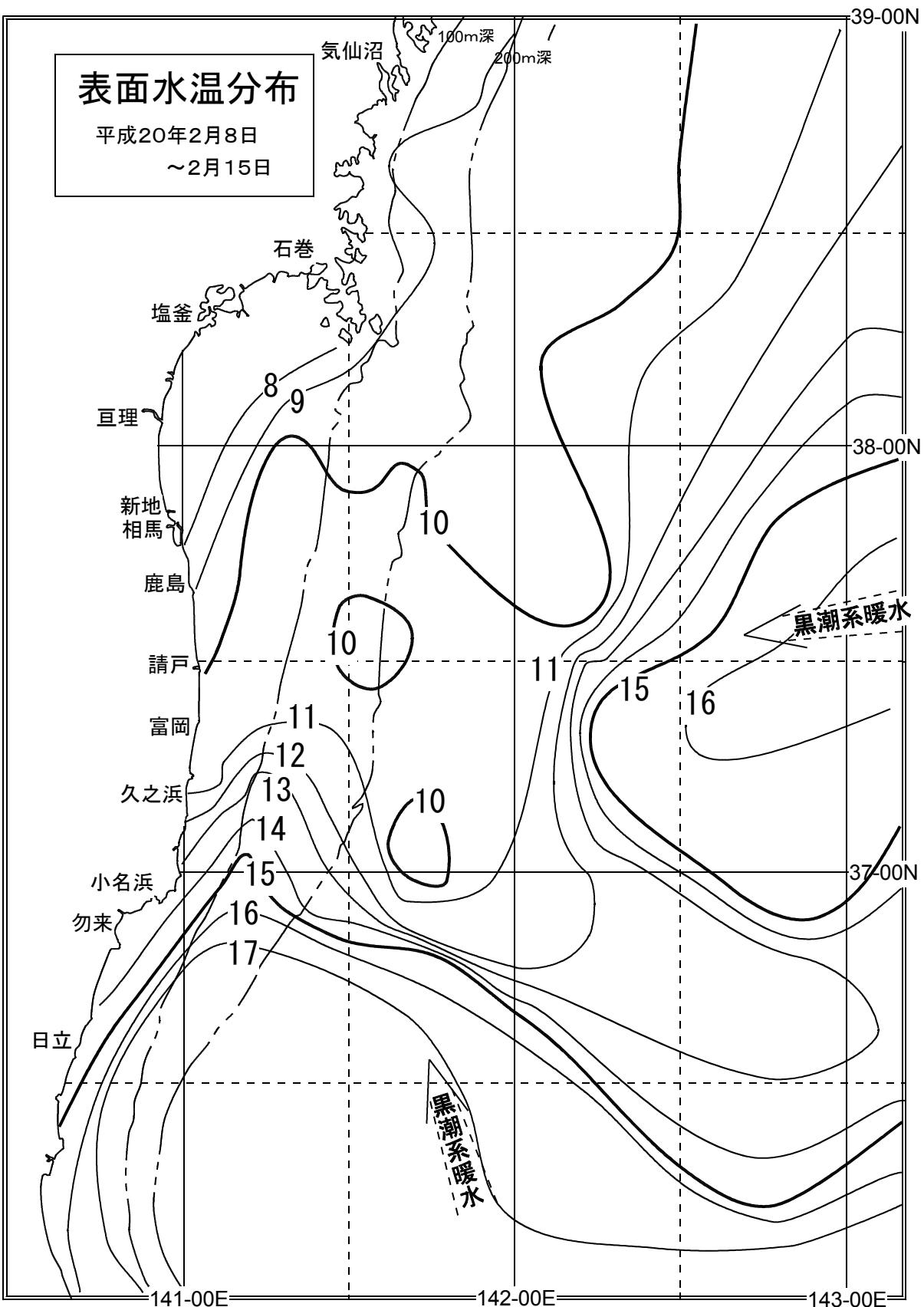
平成19年同期



表面水温分布

平成20年2月8日

~2月15日



漁海況速報

No.7

平成20年2月22日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県南部海域の黒潮系暖水の波及は強まり、20海里沖付近を中心に13~15°C台がみられる。

②本県中北部海域には8~9°C台が広く分布し、南部海域沖40海里付近に9°C台が差し込んでいる。

③定地水温は、小名浜は平年より2°C高く、大熊は平年並、松川浦は1°C低い。

見通し(1週間)

・県南部海域への黒潮系暖水の波及は継続するでしょう。

平成19年度東北海区海況予報 第5回

・平成20年2月19日に、北海道区水産研究所ならびに東北区水産研究所とりまとめにより発表されました予報をお知らせします。

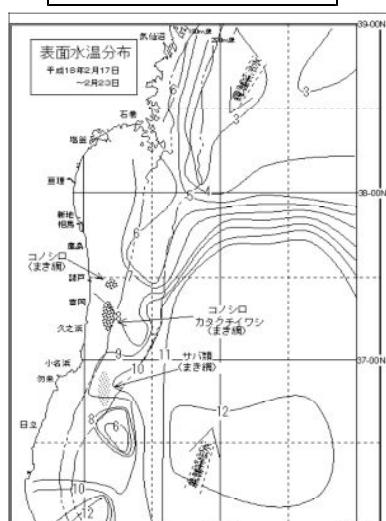
「今後の見通し(2008年3月中旬)」

- 近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏~平年並(35°30'N~36°30'N)で推移する。
- 黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- 色丹島沖、金華山沖の暖水塊は持続する。
- 親潮第1分枝の張り出しが、やや北偏(39°30'N~40°30'Nまで)で推移する。塩屋崎沖に冷水域が残る。
- 津軽暖流の下北半島東方への張り出しが、平年並(142°10'E付近まで)で推移する。

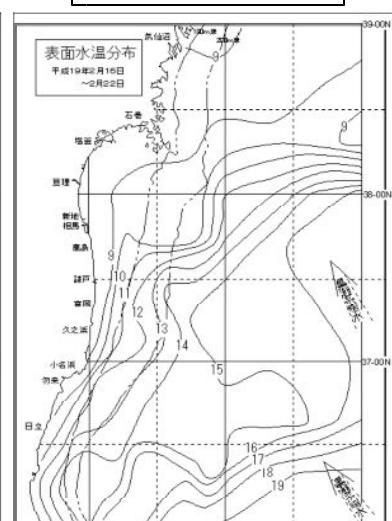
「福島県海域の今後の見通し(2008年2月~4月)」

・黒潮系暖水の影響は3月中頃まで残るもの衰えてゆき、その後4月にかけて親潮系冷水の南下による水温の低下がみられる。

平成18年同期



平成19年同期

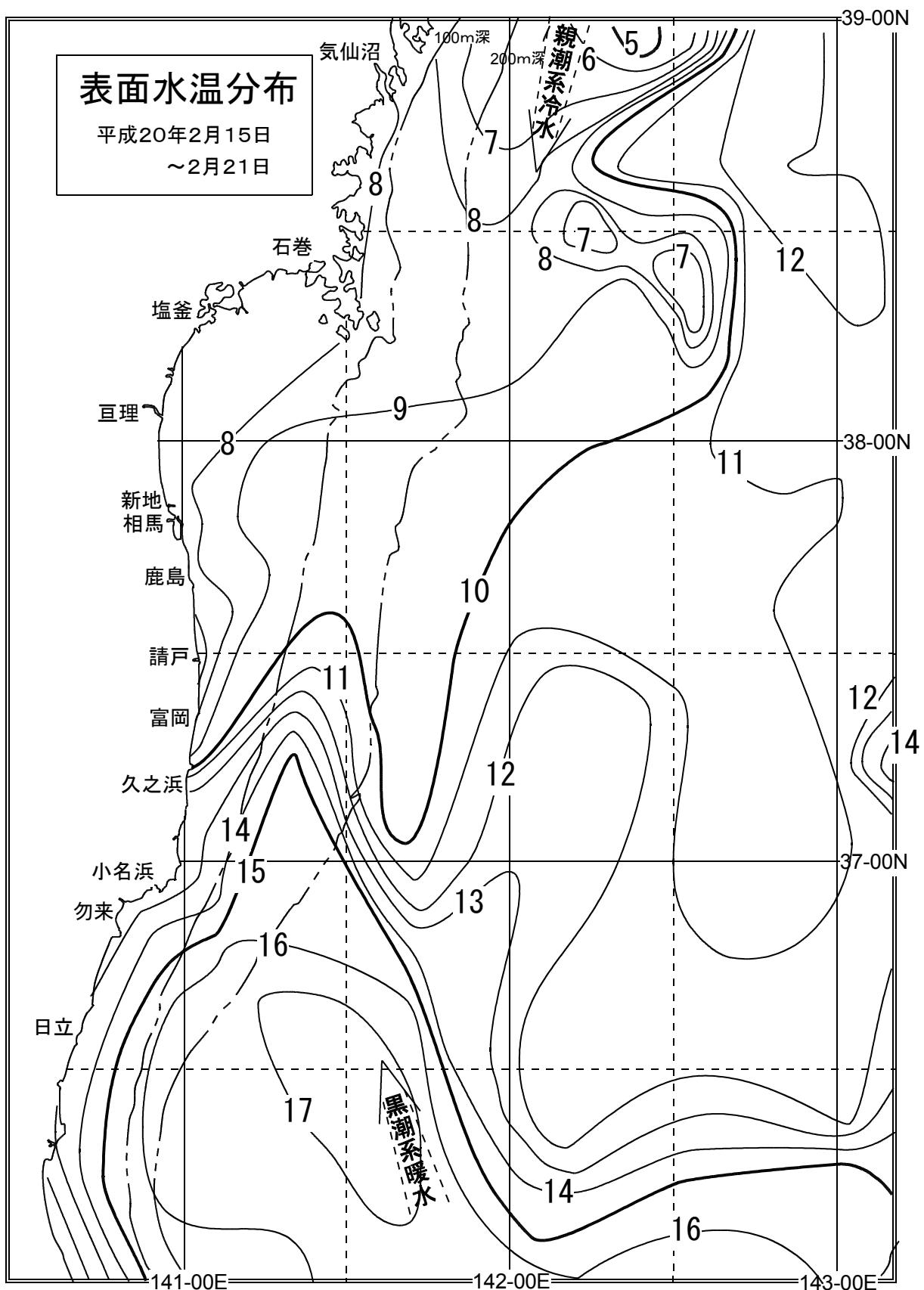


広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

定地・定点水温の推移 (°C)			
場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
2/15	11.0	7.6	5.8
2/18	10.5	7.4	5.6
2/19	10.8	8.1	5.5
2/20	11.3	7.8	6.0
2/21	11.6	8.2	5.6

表面水温分布

平成20年2月15日
~2月21日



漁海況速報

No.8

平成20年2月29日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①本県南部海域への黒潮系暖水の波及は先週並だがやや降温し、12~14°C台が広く分布した。
- ②本県北部海域沖60海里付近へ北からの親潮系冷水の波及がみられ、50~70海里付近には5~6°C台が分布した。
- ③定地水温は、小名浜は平年より2°C高く、大熊、松川浦は平年より1°C低い。

見通し(1週間)

- ・県中南部海域への黒潮系暖水の波及は継続し、40海里より沖合では親潮系冷水の波及により水温の低下がみられるでしょう。

漁況情報(オキアミ)

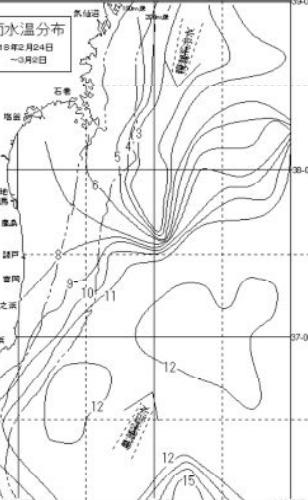
- ・岩手県では2月28日にオキアミの初水揚がみられました。300トン程度の水揚量で、単価は39~46円と、50~60円台の高値で推移した昨年には及ばないものの、近年では高い値がつけられました。
- ・東北各県協議による漁獲量の自主規制枠は以下の表のとおりです。

	平成20年漁期	平成19年漁期	前年との差
岩手県	19,500	19,000	+500
宮城県	19,500	19,000	+500
福島県	4,500	4,000	+500
茨城県	4,500	4,000	+500
合計	48,000	46,000	+2,000

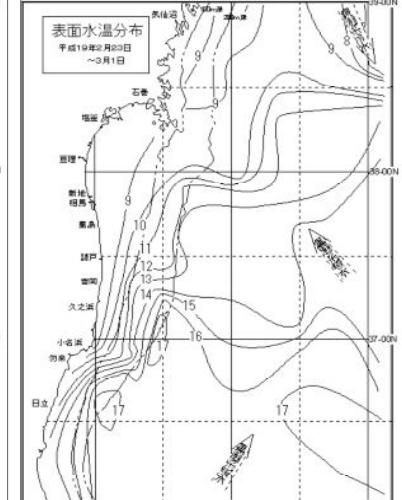
単位:トン

- ・福島県海域では現在、調査船による魚探調査ではまとまった群れを捕らえていないものの、2月下旬以降、表層付近における漁獲調査ではわずかながらオキアミの混獲がみられております。また、底魚の胃内容物調査ではオキアミを大量に捕食している魚が多くみられており、本県沖に分布し始めている様子が見受けられます。
- ・親潮系冷水の南下はオキアミのまとまった群れを形成する要因の一つと考えられております。現況では表面において冷水の南下傾向がみられており、また福島県沖の海況は3月中旬以降冷水の南下がみられると予測されていることから、今後オキアミ漁に好適な海況となる可能性があり、海況の変動に注目してゆく必要があります。

平成18年同期



平成19年同期



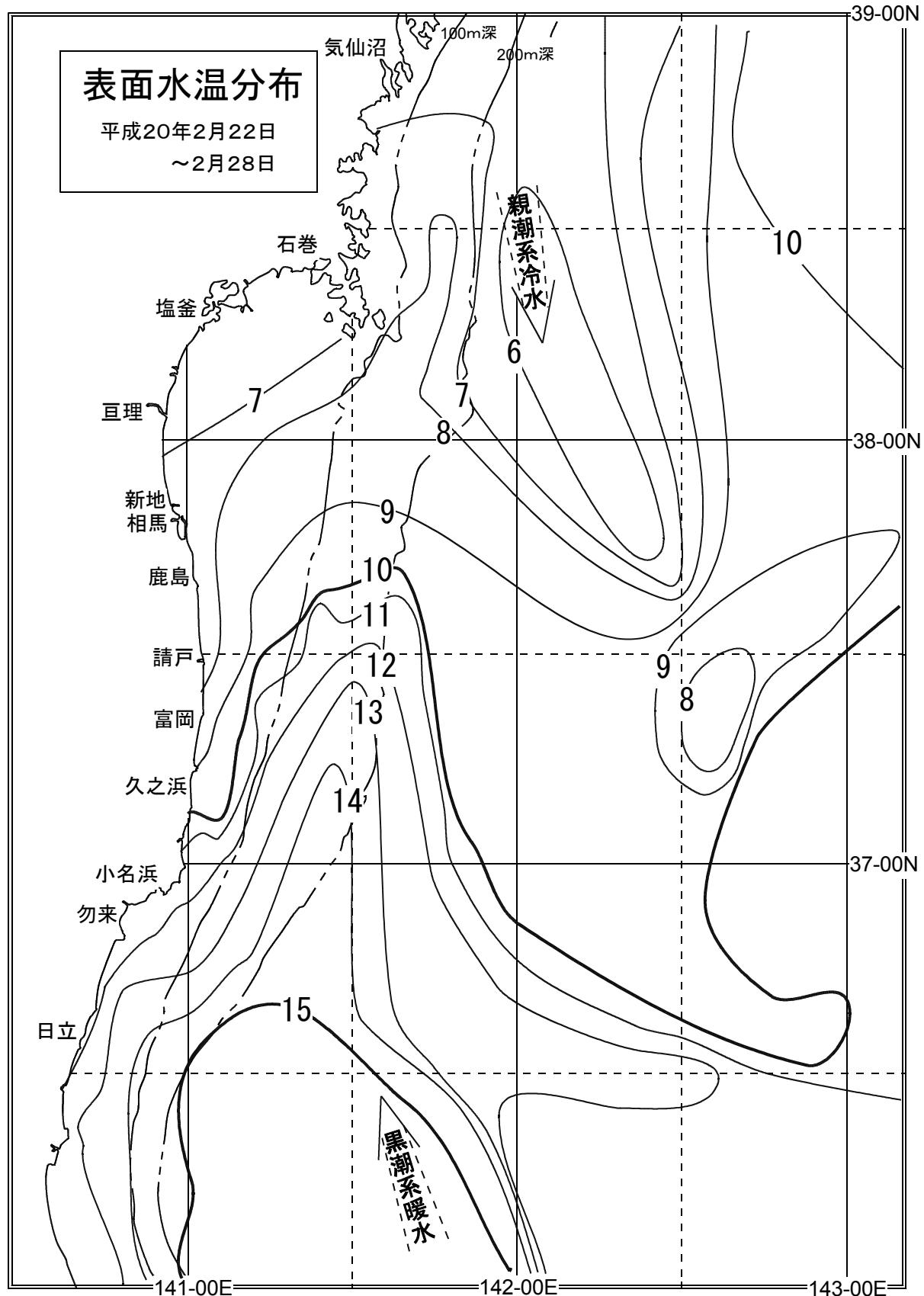
定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/22	11.1	7.5	6.1	12.0
2/25	10.2	7.2	5.4	11.5
2/26	9.9	7.4	5.9	11.7
2/27	10.7	7.3	6.1	10.8
2/28	10.1	7.2	5.6	10.9

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成20年2月22日
～2月28日



漁海況速報

No.9

平成20年3月7日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況 (表面)

- ①本県南部海域への黒潮系暖水の波及は勢力を弱め、15海里付近に13~14°C台が分布している。
- ②本県北部海域沖75海里付近へ北からの親潮系冷水の波及がみられ、5~6°C台を中心局所的には2°C台がみられた。
- ③定地水温は、小名浜は平年より2°C高く、大熊、松川浦は平年並。

見通し (1週間)

- 本県北部海域沖の親潮系冷水の波及は現状並みで推移するでしょう。

平成20年3月海洋観測結果 (県南、県中部海域)

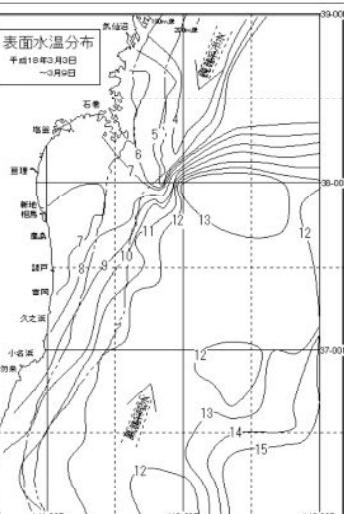
- 3月3~4日に調査船「いわき丸」で行いました海洋観測の結果をお知らせします。
- 観測された水温の各定線ごとの平均値と、その平年差の平均は以下の表のとおりでした。

(単位: °C)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	12.03	-3.27	+2.59
	富岡	10.17	-3.39	+2.07
	全体	11.10	-3.33	+2.33
100m深	塩屋	9.81	-5.36	+1.69
	富岡	8.69	-5.27	+1.24
	全体	9.31	-5.32	+1.49

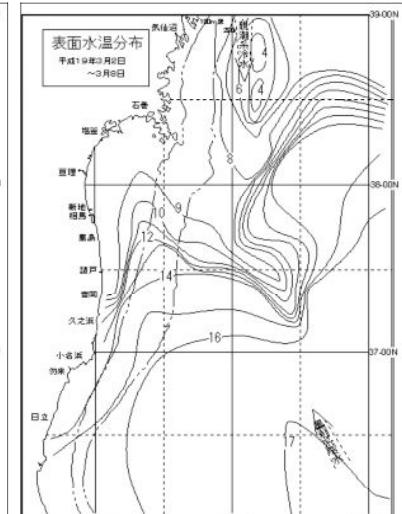
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- 本県中南部海域沿岸への黒潮系暖水の勢力は2月より弱まつたものの継続しており、表面では距岸5~20海里付近で平年より高め~極めて高めの水温がみられました。中南部海域の50海里沖までの水温平年差の平均は平年よりやや高めでした。

平成18年同期



平成19年同期



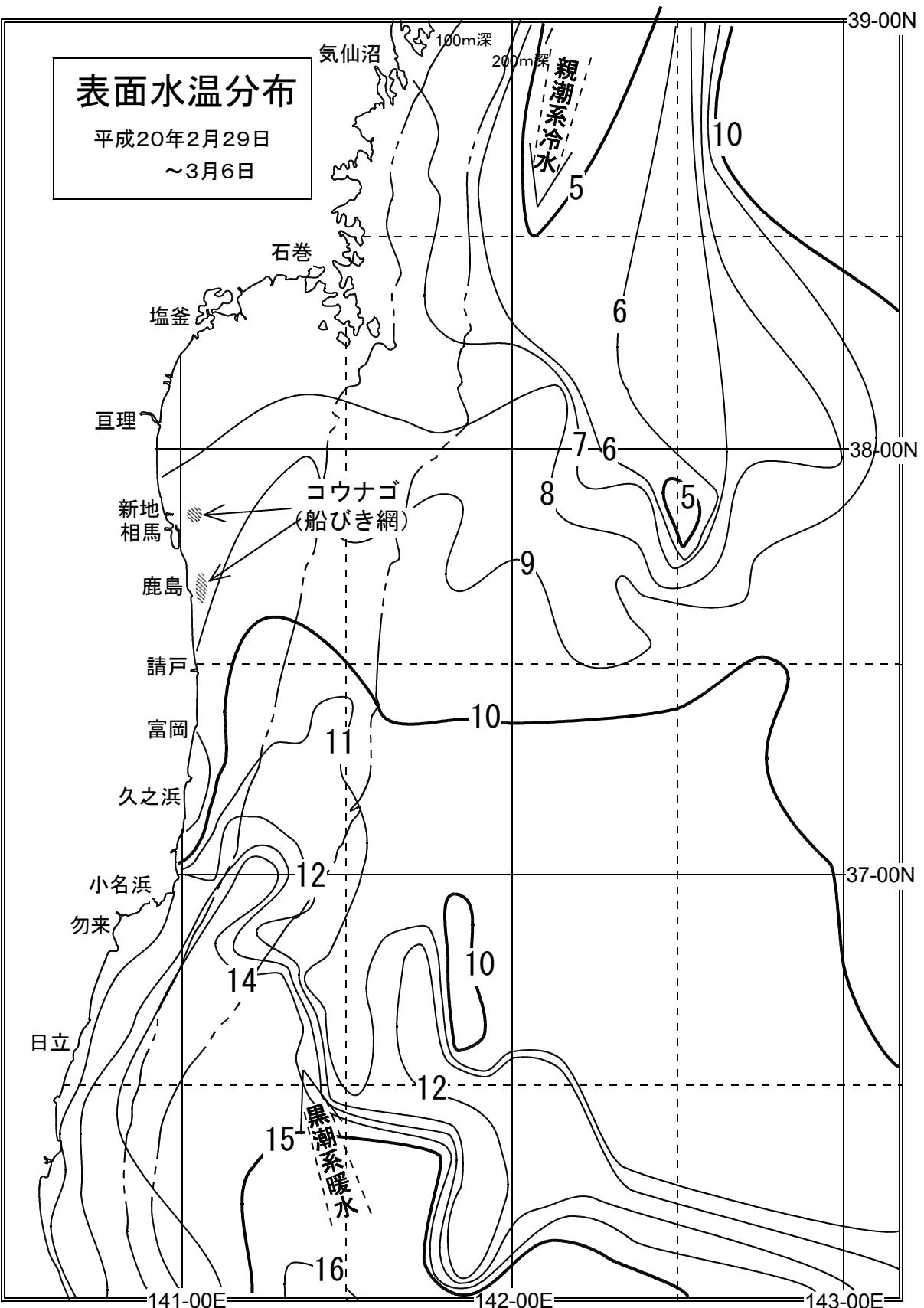
定地・定点水温の推移 (°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/29	10.1	7.3	5.8	—
3/3	10.7	7.8	7.6	10.8
3/4	11.5	7.6	7.3	10.7
3/5	11.8	8.7	6.5	10.4
3/6	11.1	8.6	6.8	10.1

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成20年2月29日
～3月6日



漁海況速報

No.10

平成20年3月14日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県中南部海域への黒潮系暖水の波及は先週よりやや勢力を強め、10~20海里沖付近に11~13°C台が分布している。

②本県中北部海域沖50~60海里沖へ北からの親潮系冷水の波及がみられ、2~5°C台が分布している。

③定地水温は、小名浜は平年より3°C高く、大熊は平年並、松川浦は平年より1°C高い。

見通し(1週間)

- 南部海域沿岸の黒潮系暖水の波及、中北部海域の親潮系冷水の波及は継続するでしょう。

漁況情報(コウナゴ)

- 3月に入り漁期を迎えましたコウナゴの漁模様をお知らせします。3月1日から12日までの近年および今年のこれまでの水揚げ状況は以下の表のとおりでした。

	いわき	相双	県内合計
平成20年	数量(kg)	29,888	165,292
	金額(千円)	24,044	130,695
	単価(円/kg)	804	791
平成19年	数量(kg)	296	14,300
	金額(千円)	304	13,486
	単価(円/kg)	1,027	943
平成20年の過去5年比	数量	129.3%	520.5%
	金額	219.0%	758.9%
	単価	130.5%	145.2%

- 相双地区では過去5年で最高の水揚量がみられております。西日本での不漁や在庫不足が影響し、単価が高めに推移しており、水揚金額も過去と比較して高いものとなりました。

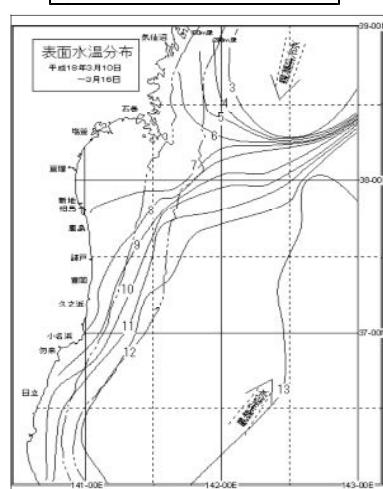
海況情報(親潮系冷水の南下)

- 調査船「いわき丸」で3月12~13日に鵜ノ尾崎・富岡沖の海洋観測を行った際、鵜ノ尾崎沖45~55海里、富岡沖60海里付近に南下流を伴った低水温(2~5°C台)が表面から100m深付近までみられました。しかしこの低温な水塊の流れは沖向き気味であり、本県南部沿岸へは今のところ波及する様子はみられません。

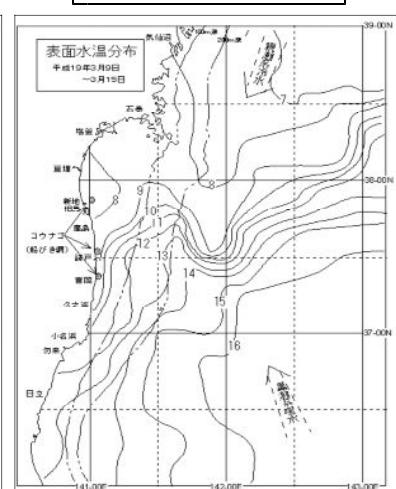
定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
3/7	11.3	8.9	6.9
3/10	12.2	8.5	7.6
3/11	11.8	9.2	7.7
3/12	11.9	8.7	7.7
3/13	11.5	8.4	8.0

平成18年同期



平成19年同期



表面水温分布

平成20年3月7日

~3月13日

石巻

塩釜

亘理

新地
相馬

鹿島

請戸

コウナゴ
(船びき網)
富岡

久之浜

小名浜

勿来

日立

気仙沼

100m深

200m深

39-00N

12

11

10

38-00N

親潮系
冷水

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

37-00N

12

13

14

141-00E

142-00E

143-00E

黒潮系
暖水